



できるのは どんなダム

それではいつごろ、どこに、どんなダムができるのでしょうか。まだ計画段階ですが、建設場所が長木沢国有林の皆倉橋付近（上記位置図参照）となっています。ダムの高さは五十六・二メートル、長さ百八十四メートルとなる予定です。完成すると、貯水量は八百万立方メートルで、その内訳は、五百十四万立方メートルがかんがい用水などの補給に、六万立方メートルが大館市の上水道として利用されます。残りの三百万立方メートルが洪水の調節容量として利用されることになります。

ダム完成後は どうなるの

ダムが完成すると、長木川のかんがい用水の補給など流量の正常な機能が維持されます。そのため、水不足による濁水が解消されるとともに、大雨や融雪時などの洪水被害も軽減することができます。また、上水道の安定供給や美しい雪沢地区の渓流なども守ることができます。

の八百二十万立方メートルは今年完成予定の大館樹海ドームの約十一・七倍の容量です。建設にかかる費用は約二百四十億円で、平成十九年度の完成を目指しています。



濁水時の長木川

※長木ダムについてのお問い合わせは、

市役所土木課 ☎49-3111（内線301）へ。